

平成 2 7 年第 6 回
上小阿仁村議会定例会
会 議 録

平成 2 7 年 1 2 月 1 5 日 (開会)

平成 2 7 年 1 2 月 1 7 日 (閉会)

○議長（小林信） 次に、7番 武石辰久君の発言を許します。7番、武石辰久君。

○7番（武石辰久） それでは、通告どおり私の方から一般質問をさせていただきます。

村の総合計画としての過疎地域自立促進計画、人口減少対策等のまち・むら・しごと総合戦略。総事業費6億円の秋田県と村の協働地域活性化策の未来づくり協働プログラムの策定計画について村長に伺います。

この3つの計画は、将来に希望の持てる自立村、上小阿仁村をつくる村民及び地域住民のものとしての元気で、豊かな生活を目指す、平成28年度から32年度まで実施する重要な将来計画であります。

策定については、住民との対話を通しての意見、要望を聞き反映させることが大変大事であります。まさに、村民の協力を得て村民の身になることにつながっていくことでもあります。現在、内容が断片的にしか分からない、何にも分からないなどという村民の声もあります。10月に行われた住民意識調査と転出者意向調査の集約結果は、まだ公表されておりましたが、どういう結果なのでしょう。

3つの計画の策定期間が大変短い中で、集落の行政懇談会は始まったようですが、さらに、村民の方々に広く周知し、反映させるために村のホームページなどに、案を掲載することや資料提供など、色々な方法で情報公開、提供、意見を求めるべきであると思います。

小さな村だからこそ、村民、皆のものにしていかなければならないと思います。村長は、6月議会の施政方針で、このように言っております。

「村の将来計画を村民の意見、要望を取り入れながら、村のため、村民ために策定することこそが重要であると思っております」と、10月の村の広報の中でも記述されております。

村長に改めて3つの計画を進めて行く方針、考え方を伺います。

各計画案の広い周知と村民の意見、要望の集約方法、さらに計画決定と秋田県等への提出スケジュールを伺います。

以上、答弁を求めます。

○議長（小林信） 村長。

（小林悦村長 登壇）

○村長（小林悦次） 未来づくり協働プログラム、そして地方版総合戦略、過疎地域自立促進計画の策定についてというふうなことのスケジュール等についてのご質問に対して、お答えさせていただきたいと思っております。

施政方針で示してあるとおり、誠実、そして堅実な行政運営、生活できる村、生活しやすい村の実現に向けて、柱となる上小阿仁村過疎地域自立促進計画、

そして上小阿仁村総合戦略、それから県との協働事業であります秋田県市町村未来づくり協働プログラムを、今現在策定中であります。

これまで3回でありますけれども、11月13日、12月3日、12月9日に委員をお願いしました有識者、村民の代表等による会議を重ねて村のビジョンについて提案を求めています。また、集落で行政懇談会を、これにつきましても、八木沢、南沢を皮切りに全集落を、来年の1月25日までには終了させていただきたいということで、各集落に今お願いをしている状況であります。都合の悪い集落等もあると思いますので、少し変更が生じるかとは思いますが、スケジュール的には、まずそういう形で今進めさせていただいております。

上小阿仁村の過疎地域自立促進計画、それから総合戦略については、素案が出来次第、議員の皆様方にお示しをするとともに、2月に一応パブリックコメントというふうなことで、住民の方々に意見を求めるというふうなことで、その後は最終計画となるように進めさせていただいております。なお、過疎地域自立促進計画につきましては、最終的には3月の議会で、議会の方の判断を仰ぎたいというふうに思っております。

それから、未来づくり協働プログラムにつきましては、多様な交流の促進による地域力創造プログラムプロジェクト基本構想を基に協議を進め、平成27年9月29日に第1回秋田県市町村未来づくり協働プログラム上小阿仁村プロジェクトチーム会議を、秋田県と開催をしております。

近いところでは、集住型宿泊交流施設基本設計委託の指名型プロポーザルのプレゼンを、今月の21日に行いたいというふうなことで計画をしております。

なお、審査後に、正式に契約をさせていただきたいというふうに考えております。今後もスケジュールにつきましては、秋田県と協議をしながら進めさせていただきたくはありますが、県からは一応事務レベルの段階での話として、あくまでも事務レベルです。2月中旬に県議会へ総括説明、それから3月に知事へのプレゼンを実施するというふうな予定で、今、進めさせていただいておりますので、よろしくお願いをしたいというふうに思います。

○議長（小林信） 武石辰久君。

○7番（武石辰久） 今、今後のスケジュールをお聞きしましたが、やはり期間が短い点は否めないと思います。そういう意味で限られた期間の中でいかに効率よく住民の意見、要望を取り入れていくかというのが、質問したように大事ではないかなと思います。

日本一の高齢化の村の中で、いろんな課題がある訳ですが、産業振興、雇用創出、少子化対策、移住定住対策、福祉健康施策等、今後、上小阿仁村がモデル村になれるような、そういう施策をやっていかなければ、やっぱり生き残っていけないのではないかと感じております。

そういう意味で、今後の住民の声の吸い上げと、今後の施策に対しての取り組みを強くお願いしまして、私の一般質問を終わらせていただきます。

○議長（小林信） これで一般質問を終わります。